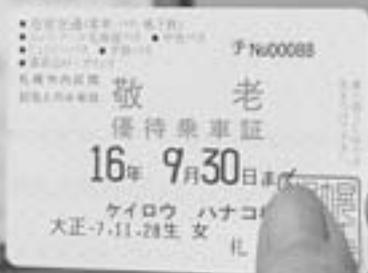


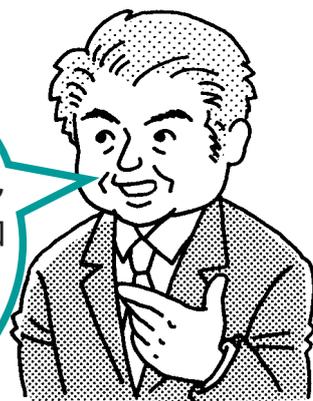
特集

みんなで 考えよう 敬老パス



敬老パスに関するお問い合わせは
高齢福祉課 ☎(211) 2976へ

敬老優待乗車証(敬老パス)は、お年寄りが買い物や通院などの際に交通機関を無料で利用できる制度です。私は、お年寄りの「出掛けたい」という気持ちを最大限に尊重し、この制度自体を廃止することは考えていません。しかし、近年、高齢化が進み、制度を維持するための費用が大幅に増加し、今のままの制度を維持できるか危ぐしています。今回の特集では、制度の現状や課題を幅広い観点から紹介します。存続していくためにはどうあるべきかを一緒に考えていただきたいと思います。



札幌市長 うえだ ふみお 上田文雄

制度ができて今年で28年目

敬老パスってなあに??

敬老パスは、正式には敬老優待乗車証といい、本市に住民登録、外国人登録をしている七十歳以上の方が、地下鉄や市電、市営バスのほか、市内の民間バスを無料で利用できるものです。

昭和五十年に市営バスと市電の二つの公共交通機関で始まった敬老パス制度は、昭和五十一年に地下鉄、昭和五十三年には中央バス、国鉄バス(現ジェイ・アール北海道バス)、じょうてつバスに利用範囲が拡大されました。制度開始時の対象



敬老パスの交付会場風景

者は三万七千人でしたが、その後、高齢者の数が増加し、現在は二十万人に。この制度は当初、「長寿のお祝い」の意味が強かったものの、今では家に閉じこもらず、外で体を動かし健康を保つための役割が強くなっています。

平成九年には、学識経験者や老人クラブの代表者などからなる懇話会で制度の見直しを検討。平成十年九月には、入院や寝たきりで実質的に利用できない方にも一律にパスを届けていた方法から、希望する方が地区会館などで交付を受ける方法に変わり、現在は七十歳以上の約八割の方が利用しています。同時に、有効期間を一年から二年に延ばすなど、手続きの簡素化も図られました。

利用できる公共交通機関

- ◎地下鉄
 - ◎路面電車
 - ◎市営バス
 - ◎中央バス
 - ◎ジェイ・アール北海道バス
 - ◎じょうてつバス
 - ◎夕鉄バス
 - ◎藻岩山ロープウェイ
- (民間バスは市内路線に限る)